

大鹿村中央構造線博物館たより 145号



2021年6月発行

TEL: (0265) 39-2205
staff69@mtl-muse.com

岩石園のマイロナイト標本の移動作業



図1 岩石園の岩石標本配置
(↑マークの標本を今回移動させた)

中央構造線博物館の岩石園に展示されている岩石標本は、できるだけ実際の地質配列に合わせて配置されています。そして、それぞれの標本の向きも、地質の向き（走向・傾斜）に合うように置かれています。しかしながら、最近になって、マイロナイトの標本のうちのひとつ（図1の↑マークのついている標本）の向きだけが実際の向きと合っていないことが発覚しました。そのため、先月、

河本顧問が標本の向きを直す作業を行いました。ただし、岩石標本はとても重く、自由に動かすことができないため、作業の過程で、右上隣に置いてあった標本と位置を入れ替えることとなりました。以下、河本顧問からのコメントを掲載させていただきます。（宮崎）

「中央構造線の活動期（時階）には、その様子が良く見える土地の地名が付けられています。この岩石は鹿塩時階1（1億年～9000万年前）の褶曲の向きと、鹿塩時階2（9000万～8000万年前）に延ばされた向きが分かる貴重な標本で、置く向きが重要です。田んぼの畔直しにミニバックホーを下した機会に、ようやく修正できました。」（河本）



写真1 作業中の様子



写真2 作業後の様子

岩石園の看板が新しくなりました！

先月の博物館たよりで、岩石園のプレートが新しくなったことをお伝えしておりましたが、この度、岩石園の2か所の看板も新しくなりました。さらに、岩石標本が黒ずんでいたため、高压洗浄をしました。新しくなった岩石園に是非お越しください。（宮崎）



写真3 看板屋さんが付け替え作業をしてくださりました！



写真4 岩石園プレートと看板の両方が新しくなりました！